

年間行事



6月 須賀神社恒例大祭



8月 信濃町ふるさと盆踊り大会



10月 四谷大好き祭り

信濃町ってどんなまち？

外苑東通りが地区の中央を南北方向に走っています。沿道を中心に中高層のビルが多く建ち並び、歩道に面して商店が展開しています。



昭和49(1974)年
所蔵：新宿歴史博物館

現在

信濃町の名の由来

「信濃町」という名称の由来は、江戸時代の幕臣・永井尚政(信濃守)〈天正15(1587)年-寛文8(1668)年〉の屋敷があったことによります。明治6(1873)年に外苑東通りを境に、四谷東信濃町と千駄ヶ谷西信濃町ができました。その後何度か変遷し、昭和18(1943)年に東信濃町と西信濃町が合併し、現在の信濃町になりました。



元治元(1864)年
所蔵：新宿歴史博物館



昭和16(1941)年
所蔵：新宿歴史博物館

年表

1603	慶長8	徳川家康、江戸に幕府を開く
1605	慶長10	永井尚政、従五位下、信濃守に叙任される
1868	慶応4	江戸を東京と改める
1885	明治18	新宿駅が開業
1888	明治21	大日本帝国陸軍の師団の一つである第一師団(第一師団)第一大隊が千駄ヶ谷村字西信濃町弾薬庫前に移転
1894	明治27	甲武鉄道が開通。信濃町駅、四ツ谷駅が開業
1906	明治39	東京電気鉄道、信濃町に敷設
1912	明治45	明治天皇崩御。大正と改元
1917	大正6	慶應義塾大学部医学科開設、信濃町の陸軍用地を購入
1920	大正9	慶應義塾大学医学部開校ならびに大学病院開院式
1923	大正12	関東大震災
1926	大正15	明治神宮外苑開場
1930	昭和5	日本基督教団信濃町教会、信濃町へ移転
1932	昭和7	五・一五事件。犬養毅が射殺される
1943	昭和18	東京都発足
1945	昭和20	東京大空襲
1946	昭和21	信濃湯開業(信濃町町会運営)
1947	昭和22	新宿区が誕生
1950	昭和25	文学座のアトリエ完成
1953	昭和28	創価学会本部、信濃町へ移転
1956	昭和31	信濃湯廃業
1959	昭和34	天皇陛下ご成婚パレード(外苑東通り通過)
1964	昭和39	首都高速4号線完成・オリンピック東京大会開催
1969	昭和44	都電信濃町線廃止
1973	昭和48	環状3号線道路整備
1980	昭和55	信濃町駅新駅舎完成
1993	平成5	信濃町駅新駅舎(駅ビル)完成
1997	平成9	民音音楽資料館(現：民音音楽博物館)、信濃町へ移転

出典：信濃原の郷土史、各ホームページ(民音音楽博物館、信濃町教会、他)



文学座のアトリエや民音音楽博物館等の多様な文化施設があります。また、地区およびその周辺には、犬養毅や池田勇人等の著名人が住んでいました。



信濃町駅は、地域を代表する施設です。一日平均約2万6千人(降車客含まず)が乗車する、まちの拠点となっています。
※平成29(2017)年度



地区東部や駅周辺は、土地の起伏が激しく、坂が多くあります。信濃町を含む四谷エリアは武蔵野台地の東端に位置し、小さな谷が刻まれている地形となっています。
出典：新宿区景観形成ガイドライン(一部加筆)



地区の南西部には、慶應義塾大学病院、南東部には創価学会の関連施設が立地しています。北側には、閑静な住宅地が広がっています。

まちの取り組み

信濃町防犯コミュニティ

信濃町町会と信濃町商店振興会が中心となり、四谷警察署の指導・協力のもと発足しました。「青色防犯パトロールカー」で巡回を行っています。



信濃町防災コミュニティ

信濃町町会、信濃町商店振興会、地区内の事業所などで大震災時の相互協力・共助関係の協定を結んでいます。四谷消防署、四谷消防団、新宿区と連携して、防災訓練を実施しています。



信濃町駅周辺地区まちづくり協議会

地元住民が中心となって設立し、まちあるきや意見交換を重ねながら、地区の特性や課題、取り組むべきことについて検討しています。平成30(2018)年6月には、地区にふさわしいまちづくりを推進していくため、「信濃町駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。



M A P 信濃町 まちあるき



《発行》
信濃町駅周辺地区まちづくり協議会
平成31(2019)年3月

Access



信濃町駅周辺地区のまちづくり情報をCHECK▶



お問合せ先 信濃町駅周辺地区まちづくり協議会 事務局
新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課
電話：03-5273-3569 ファックス：03-3209-9227

